

H24年産 オクラ生産履歴記帳簿

(作型: ハウス, トンネル, 露地) 該当する作型に○をつけましょう。

集荷場

氏名

個人情報保護のため
掲載を見合わせます。

【ほ場】

	ほ場字地番	面積	は種日
1	湯ノ原六丁目	8a	3/5
2	下町建原前	6a	3/6
3		a	
4		a	
5		a	

農薬を使用する際は、必ず適正使用基準に基づき正しく使用し、生産履歴記帳に努めましょう。

【管理作業】

実施日	主な管理作業
12/1	苦土石灰(100 kg)
/	ヨーリン(kg)
2/15	堆肥(品名: みのり 1,200 kg)
2/27	基肥(品名: オクラ 西己 1 kg) 90
/	追肥1回目(品名: kg)
/	追肥2回目(品名: kg)
/	追肥3回目(品名: kg)
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

【土壌消毒】

農薬名	10a当たり 使用量	使用時期	使用回数	類 センチユウ	ネキリ虫	ハリガネ虫	幼虫 コガネ虫類	苗立枯れ病	半身萎凋病	消毒日
クロールピクリン	3ml/1穴	-	1						◎	1/10
ソイリーン	20~30ℓ (1穴2~3ml)	作付の 10~15日前まで		◎				◎		
テロン92	15~20ℓ (1.5~2ml/1穴)	作付の 10~15日前まで		◎			◎			
ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	は種前	1	◎	〔全面土壌混和〕					/
ネマトリン粒剤	30kg/10a	は種前		◎	〔全面土壌混和〕					

【収穫作業】

5月13日 ~ 月 日

この記帳簿は県農薬使用の手引き等に基づき、平成23年12月末現在においてマルユで作成していますが、生産履歴記帳を推進するため
注意! に作成したものであり、使用できるすべての農薬を記載したものではありません。

農薬の使用に際しては、使用するもの自らの責任において、正しく使用することが法律において義務づけられています。農薬の登録変更

殺菌剤

野菜類で登録	農薬名	成分名	使用量 希釈倍数	ま何(使用 で日(収穫)前時	使用 回数	病 う ど ん こ	苗 立 枯 病	か び 病	灰 色 病	葉 枯 病 (黒 斑 病)	葉 す す 病	農薬散布日						
												○	○	○	○	○	○	○
○	硫黄粉剤50	硫黄	3kg/10a	—	—	◎	ハダニ類にも登録					/	/	/	/	/	/	
○	イオウフロアブル		500~1000倍	—	—	◎							/	/	/	/	/	/
○	インプレッション水和剤※	バチルス・ ブチリス	500~1000倍	発病前から発病初期まで	—	◎		◎				/	/	/	/	/	/	
○	ボトキラー水和剤※		1000倍	発病前から発病初期まで	—	◎		◎					/	/	/	/	/	/
○	カリグリーン	炭酸水 素カリウム	800~1000倍	収穫前日まで	—	◎						/	/	/	/	/	/	
			800倍												/	/	/	/
○	ジーファイン水和剤	炭酸水素ナ トリウム・銅	750~1000倍	収穫前日まで	—	◎						/	/	/	/	/	/	
○	ハーモメイト水溶剤	炭酸水素 ナトリウム	800倍	収穫前日まで	—	◎			◎			/	/	/	/	/	/	
			800~1000倍												/	/	/	/
○	コサイドボルドー	銅	1000倍	—	—	斑点細菌病で登録					/	/	/	/	/	/		
○	Zボルドー		500倍	—	—	斑点細菌病で登録					/	/	/	/	/	/		
	カスミンボルドー	カスガマイ シン・銅	1000倍	収穫7日前で	計 3 回					◎		/	/	/				
	銅												◎		/	/	/	
	トップジンM水和剤	チオファネー トメチル	1500倍	収穫前日まで	3						◎	5/11	/	/			←高温時に薬害のおそれがある	
	トリフミン水和剤	トリフルミ ソール	5000倍	収穫前日まで	3	◎					◎	6/11	/	/			←高温時に薬害のおそれがある	
	モレスタン水和剤	キノキサリン	3000倍	収穫前日まで	3	◎	ハダニにも登録					/	/	/				
(リゾグニア菌)	リゾレックス水和剤	トルクロホス メチル	1000倍	は種時及び子葉展開時	2		◎					/	/	※植穴土壌かん注(150ml/1穴)				
	ロブラール水和剤	イプロジオン	2000倍	収穫前日まで	3			◎		◎		6/10	/	/				
	パンソイル乳剤	エクロメゾール	2000倍	は種時~発芽初期	2		◎					/	/	※200ml/株 株元灌注				
	リドミル粒剤2	メタラキシル	10kg/10a	収穫前日まで	3	疫病で登録あり					/	/	/	※株元散布				
	アミスター20フロアブル	アゾキシスト ロビン	2000倍	収穫前日まで	2	◎						/	/					
	スミレックスくん煙顆粒	プロンミドン	6g/100m ³ (床面50m ² × 高さ2m)	収穫前日まで	5			◎				/	/	/	/	/		
(ピシウム菌)	タチガレン液剤	ヒドロキシイソキ サゾール	500倍	は種時~発芽初期	2		◎					/	/	※200ml/株 株元灌注				
												/	/	/	/	/		

※「ボトキラー水和剤」、「インプレッション水和剤」については、湿展性の展着剤を加用し、低温時(10℃以下)の散布は避ける。
 ※使用時期(収穫何日前まで)欄の1日は24時間前。前日までは24時間前までに使用。

平成23年12月末現在

殺虫剤

野菜類で登録	農薬名	成分名	使用量 希釈倍数	使用時期 (収穫何日前まで)	使用回数	類ア ブ ラ ム シ	類ア ザ ミ ウ マ	ヨ ト ウ モ ン	ハ ス モ ン	オ バ コ ガ	類ネ キ リ ム シ	農薬散布日						
												5/27	/	/	/	5/16	6/10	/
	アタブロン乳剤	クロルフルアスロン	2000倍	収穫前日まで	4			◎	◎			5/27	/	/	/			
	アディオン乳剤	ヘルメリン	2000倍	収穫前日まで	計3回	◎		◎				5/16	6/10	/		(注)使用時期(収穫何日前まで)欄の1日は24時間前。前日までは24時間前までに使用。		
	ガードベイトA		3kg/10a	は種時～生育初期				◎										
	アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド	4000倍	収穫前日まで	3	◎	◎					5/27	/	/				
	アフーム乳剤	エマメクチン	2000倍	収穫前日まで	2					◎		5/17	/					
	オルトラン水和剤	アセフェート	1000倍	収穫7日前まで	計1回	◎						/						
	ジェイエース水溶剤		1000倍	収穫3日前まで		◎												
	コテツフロアブル	クロルフェナビル	2000倍	収穫前日まで	2			◎	◎			/	/					
	トレボン乳剤	エトフェンプロックス	1000倍	収穫前日まで	3	◎						/	/	/				
	モスピラン水溶剤	アセタミプリド	4000倍	収穫前日まで	3	◎						/	/	/				
	ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン	6kg/10a	収穫60日前まで	2						◎	/	/			(注)土壌表面散布		
	マトリックフロアブル	クロマフェノシド	2000倍	収穫前日まで	3			◎				/	/	/				
	ダントツ水溶剤	クロチアニジン	2000～4000倍	収穫前日まで	3	◎						/	/	/				
	アクタラ顆粒水溶剤	チアメキサム	2000倍	収穫前日まで	3	◎						/	/	/				
	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	2000倍	収穫前日まで	計2回	◎						/	/					
	アルバリン顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日まで		◎												
○	B	エスマルクDF	BT	1000倍	発生初期但し収穫前日まで	-				◎		/	/	/	/			
○	T	ゼンターリ顆粒水和剤								◎								
○	剤	デルフィン顆粒水和剤								◎								
○	サンクリスタル乳剤		脂肪酸グリセリド	300倍	収穫前日まで	-	◎	ハダニにも登録			/	/	/	/	/	/		
												/	/	/	/	/		
												/	/	/	/	/		

除草剤	バスタ液剤	10aあたり使用量	使用時期	使用回数	適用雑草名	散布日
		バスタ液剤300～500mlに対して 水量100～150ℓ	収穫前日まで	3	1年生雑草	/ / /

←雑草生育期は種前又は畦間処理

展着剤	アプローチBI	希釈倍数・使用量	適用農薬名	使用回数	散布日
		2000倍	殺虫剤 殺菌剤	-	/ / /

平成23年12月末現在